



Meijo Community Support Park

『名城コミュニティサポートパーク』

施設側が一方向的に提供する場ではなく

パークの来園者とコミュニティを育てて

共に育みながら成長できる事業

共に育みながら成長できる

一緒につくり、育てていくあたらしい場

名城公園で育った緑をいかす

専門家による植栽管理とボランティアのお手伝い

建築空間の魅力で行きたくなる

人間視線のヒューマンスケールな建築

コミュニティが集う場所

店舗の集積が楽しい

名城公園にはじめて誕生する商業施設

広い公園の中で飲食をしたり買い物をするという新しい体験

イベントやワークショップが楽しい

コミュニティが様々な形で育っていく



- 地産地消・・・地元の食材をメインに提供
- 低カロリー・・・健康志向のメニュー構成
- レストランとカフェ・・・食の拘り店や専門店を誘致
- 愛知学院大学教授の相談会・・・認知予防の食事メニュー



食 を育む事業

- ランニングステーション・・・ロッカー、シャワー等完備
- サイクルステーション・・・駐輪スペースやパンク修理等
- スポーツ店・・・メーカーなどスポーツ専門店の誘致
- 愛知学院大学教授の相談会・・・ジョギング講習会など



体 を育む事業

緑 を育む事業



- 樹々や花壇のメンテナンス・・・植栽、花苗植え、雑草駆除
- 緑がテーマのワークショップ・・・五感で楽しむ身近な緑
- アウトドア関連イベント・・・BBQや焼き芋大会
- 環境共生型の施設運営・・・全天候型の観賞ベンチ設置など

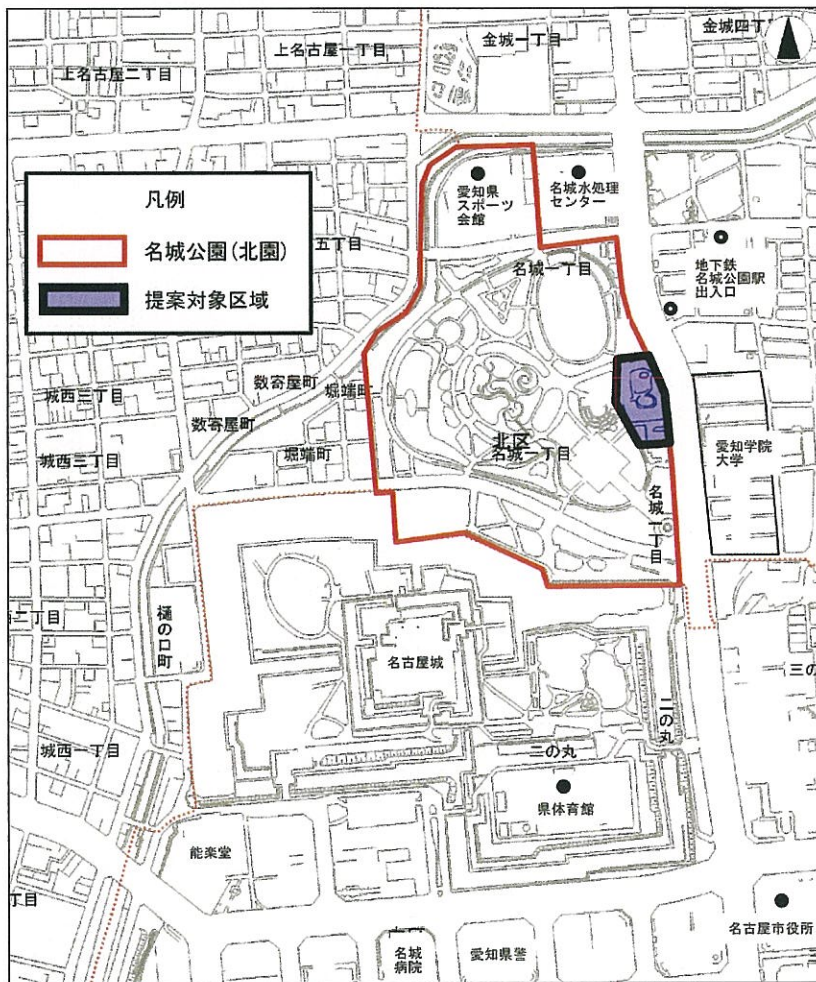
集 を育む事業



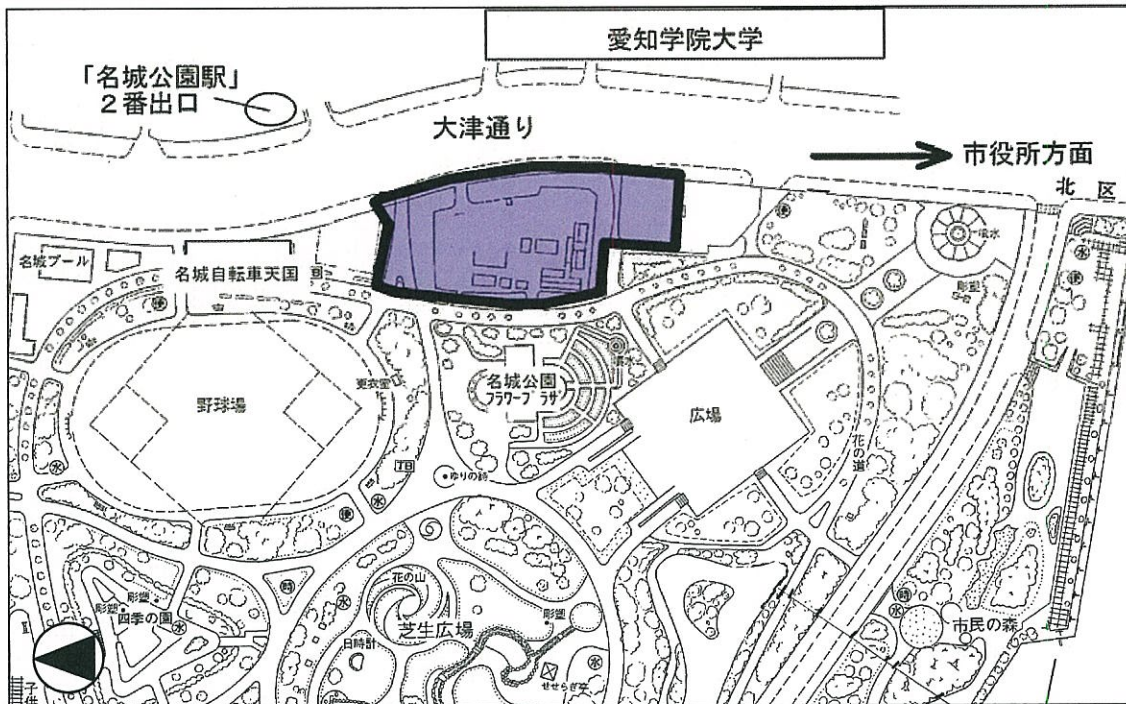
- ゲート、広場の創出・・・コミュニティの創出を演出
- 多様な人々の集い・・・老若男女、インバウンドなど
- 地域やボランティアと連携・・・児童館的機能
- 情報発信によるPR・・・市政および市や民間の行事など発信

Meijo
Community
Support
Park

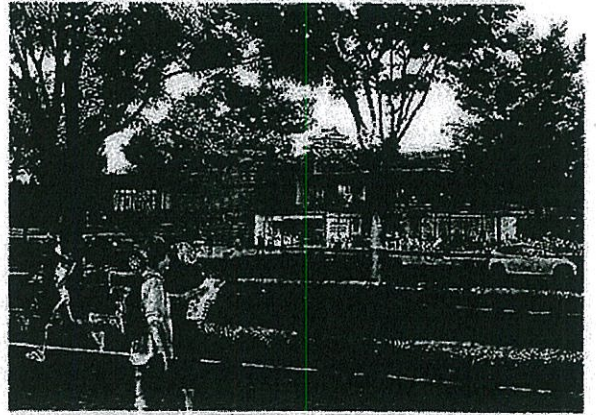
【提案対象区域周辺図】



【提案対象区域拡大図】



18年4月開業予定、名城公園の営業施設 事業者に中部土木



名城公園に設ける施設のイメージ図

名古屋は25日、名城公園(名古屋北區名城)内で2018年4月に開業予定の営業施設について、建設と運営を委託する民間事業者に、中部土木(本社名古屋市中東區社台、電話052・777・3311)を選定したと発表した。

同社と岩間造園(本社名古屋瑞穂區)、マウントフジアーキテクトゥスタジオ(本社東京)で構成する団体が連携して、飲食店などを開設する。総事業費は非公表。

18年3月完成を目指す。事業期間は10年。最長20年まで更新できる。

提案区域は名城公園・北園内の7380平方メートル。15年3月に取り壊した同公園管理事務所の跡地と、隣接の75台分の駐車スペースを活用して、営業施設を整備する計画。

新たな管理施設は企業が独自資金で整備する。採用した提案プランでは、レストラン2カ所、カフェ、物販店2カ所、スポーツサービ施設、小型店を配置す

る。詳細は今後、協議して決める。管理・運営も委託することで、民間活力を生かした営業施設を公園の活性化に役立てる。

民間事業者の選定について、河村たかし名古屋市長は「名城公園周辺でランニングなどを楽しむ利用者のために、有料のシャワー施設も設ける予定となっている。公園の利便性向上と地域活性化に期待している」と話している。

営業施設に関する問い合わせは、緑地部緑地利活用室(電話052・972・2489)まで。

↑
2016.4.26
中部経済新聞

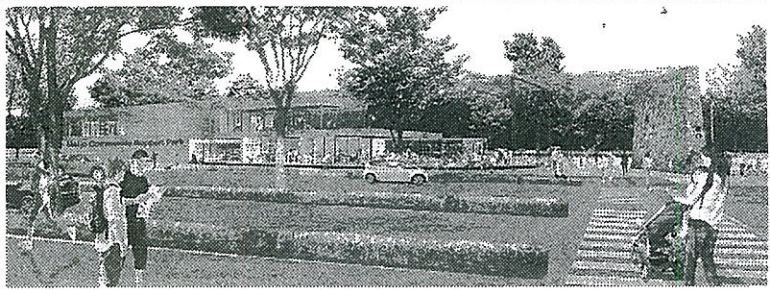
←2016.4.26
建設通信新聞

最優秀に中部土木グループ

名城公園 北園 営業施設事業者
名古屋

名古屋は名城公園(北園)で営業施設などを行う事業を選定する提案競技を実施し、中部土木を代表法人とするグループを最優秀提案者に決めた。構成員は岩間造園、マウントフジアーキテクトゥスタジオ一級建築士事務所。「名城

サポートパーク」をコンセプトに、飲食施設(カフェレスレストラン)、スポーツサービ施設(ラン・サイクルステーション)、物販(スポーツショップなど)、駐車場(駐車台数75台)などの整備を提案した。3者の提案を評価委員会議



提案イメージ

7年4月の供用を目指す。事業期間は最大で37年3月31日まで。対象地は北區名城1。敷地面積は約7380平方メートル。

名城ランナーいらっしやい

公園内に施設
来春までに開業

名古屋は25日、同市北區の名城公園内に新施設「名城コミュニティサポートパーク(仮称)」の写真をイメージして開設すると発表した。敷地面積7380平方メートルで、カフェやレストランのほか、ジョギングやサイクリングを楽しむ人たちのためにシャワー室やロッカー、スポーツ用品店なども設ける。来年4月までに開業する見通しで、中部土木(名古屋)などが施設の管理・運営にあたる。

市の担当者は「名古屋



←2016.4.25
日経(7刊)

が審査。同グループの提案は名古屋城のイメージに即したエントランス、ウッドデッキの階段など公園の新しいランドマークになる点や、備蓄倉庫、太陽光発電など災害時の運営計画も高く評価された。次点は新東通信を代表とするグループだった。

今後は5月に基本協定、7月に実施協定を締結。201